様式第１号（第５条関係）

２０２６年7月17日

世羅町長　様

申請者
団体住所　世羅郡世羅町黒川10282-1
団　体　名　黒　川　自　治　会
代表者氏名　会長　池　上　　哲　夫

令和９年度世羅町元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書

つぎのとおり世羅町元気な地域づくり応援事業のプロジェクト認定を受けたいので、世羅町元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱第５条第１項の規定により、関係書類を添えて申請します。

１．プロジェクト名称

『グラウンド・ゴルフと、夏で遊ぼう、野球教室で、世羅を紹介するプロジェクト』

２．補助対象事業費

1,162,000円

３．目標金額（補助金交付希望額）

1,162,000円

４．成立金額（事業の実施に最低限必要な補助金額）

962,000円

５．添付書類
（１）事業計画及び収支予算書
（２）団体の規約又は定款
（３）事業位置図・事業実施場所写真
（４）団体の構成員名簿
（５）団体の決算書・総会資料
（６）見積書（又は設計書）
~~（７）図面~~

次の点について了解のうえ申請してください。了解された場合は☑してください。
☑この認定申請は、プロジェクトの実施を希望する年度の前年度に行うものです。
　認定申請と同一年度にプロジェクトを実施することはできません。
☑」年度はプロジェクト実施年度を記入してください。
☑この認定申請書等は、ふるさと納税の募集等のため、世羅町ホームページに公開します。

事業計画及び収支予算書

１．申請団体の概要

①団体名	黒川自治会	
☑団体の規約又は定款を添付してください。		
②団体の代表者	会　長　　池　上　　哲　夫	
③代表者住所、連絡先	〒729－6711　世羅町大字黒川 1472-2 番地 TEL：0847（　37　）2117	
事務局連絡先（送付先） ＊連絡先等が異なる場合には記載してください	〒729－6711　世羅町大字黒川　10282-1　　番地 氏名　藤　戸　　文　昭　　TEL：0847（　37　）2117	
☑代表者及び事務局の住所・連絡先は公開しません。黒塗りとします。		
④設立（発足）年月	昭和・平成・(令和)　様式第２号（第５条・第６条関係） 3　年　　1月　　21日	
⑤構成員	会員数　　５１０名	うち町民　　５１０名
	スタッフ　　２名	
☑構成員名簿を添付してください。（構成員名簿は公開しません。） ☑５人以上で構成される団体が補助対象団体となります。 ☑町内に住所を有する者が構成員（会員）に複数名必要です。		
⑥設立目的・趣旨	本会は、黒川地域における協同と自治に根ざした住民相互の親睦と文化の向上及び福祉の増進を図り、防災に努め、心のふれあう明るく住みよい地域づくりをめざすことを目的とする。	
⑦主な活動分野 （特定非営利活動分野から３つ以内でチェックを入れてください）	☑①保健・医療・福祉　□②社会教育　□③まちづくり ☑④文化・芸術・スポーツ　□⑤環境保全　□⑥災害救援 □⑦地域安全　□⑧人権・平和　□⑨国際協力 □⑩男女共同参画社会　☑⑪子ども健全育成　□⑫情報化社会 □⑬科学技術　□⑭経済活動　□⑮職業能力開発・雇用機会拡充 □⑯消費者保護　□⑰その他（　　）	
⑧過去１～２ヵ年の主な活動実績、年間事業規模、今後の取組み予定	（昨年度）黒川自治会の三大行事である、夏祭、敬老会、どう太くん祭りの三つに加え、元気な地域づくり応援事業の参加者等も増え、大きな行事になってきた。 自治センターでは、準備等に非常に忙しくなってきたが、地域の方に喜んでいただけるのであればという思いで実施している。 特に、昨年初めて実施した『夏で遊ぼう』については、町外からの親子の参加者があり、行事もいろいろな準備がされ盛況だった。 黒川 GG 大会は、春、秋の２回行い、春は一昨年に続き雨で抽選会となりました。しかし、秋の大会では GG 愛好家が多数集まり１９７名の方が参加された。今年の春については、２年連続の雨で抽選会だったが、参加者の方はほとんどの方が来られ、抽選会も盛況だった。 そして、カープ選手を講師に招いた野球教室においては、世羅西中学校に於いて、小中学生合同で開会し、カープ選手の専門的な指導をいただき、指導者、保護者ともに大いに盛り上がりました。	

	今年度（令和８年度実施）の、元気な地域づくり応援事業内容①グラウンドゴルフにおいて、春の大会は、昨年一昨年と２年連続で雨天により抽選会となったため、開催日を４月から５月末に変更して第５回を計画しましたが、今年も雨で抽選会となりました。しかし、参加人数は、今までの最高の２２８名となり、認知度も上がってきました。 ②世羅西中学校にカープの選手をお招きし、プロ野球選手との交流を行い、基礎を教えてもらえるようなスポーツ教室を行う予定。 ③『夏であそぼう』夏休み親子行事 地区内外親子の方を招待して『夏であそぼう』と題して、親子で水遊び（水鉄砲で水の掛け合い）スイカ割り、ゲーム、親子カレー、キャンドルサービス、花火等を行った。親子で思いっきり遊ぶこの行事を大きくして、交流を深めたい。一昨年から試行的に行い始めたが、一昨年 40 名程度から、昨年は 70 名、今年は 80 名の方が集まった。地域も、大和町、東広島、松永、広島市と広範囲の方が集まった。
☑新型コロナウイルス感染症の影響により、過去 2 年間の主な活動実績がない場合、過去 5 年以内の主な活動実績などを記載してください。	

２．事業計画

①プロジェクト名称	「グラウンド・ゴルフ大会、野球教室、夏であそぼう」
☑プロジェクト名称はふるさと納税等を募集する際にも使用するため、簡潔で分かりやすい名称としてください。	
②このプロジェクトに取り組む理由	①　グラウンド・ゴルフ大会 黒川地区は、人口５３０名未満で高齢化率５６％に達するなど、典型的な少子高齢化地区であるが、主産業が農業で高齢でありながら、農業を通じて体を動かしている人が多いためか、元気な年寄りの多い地域でもある。 特に、60 歳以上を対象に組織されている老人クラブ、黒川暁クラブでは、会員数７６名の会員を有し、元気な会員をメインとして、年間を通じて多数の行事を企画しており、町内でもこのように組織立って行事が出来ている老人クラブは珍しい。 令和６年度から実施している元気な地域づくり応援事業を継続的に行う事により、他地区や町外から来ていただける様になり、大会も盛り上がってきた。この大会を継続して行う事により、地域交流、人との交流が生まれてきている。 また、黒川地区の観光の拠点である「せらにし青少年旅行村」の指定管理者（株）C-PLANTS と連携して黒川地区への来訪者を呼び込む、継続的な大会にしたい。 大会の賞品を地域の特産品や、せらワイナリーの賞品を用意し、世羅町のことを知っていただける仕掛けを行いたい。今後、秋の大会は、地元の米（コシヒカリ）を賞品に出すことも計画している。 毎年実施し、例年、楽しみにしてやってきてもらえるような大会にしたい。 【資料】 特にコメ（世羅のコシヒカリ）は、他の地区の米と比較してもらえれば、必ず「おいしい』と評価いただける自信がある。コメのおいしさが知れ渡り購入量が増えてくれれば、新たな出荷先の機会となる。 ②　広島カープ選手による、野球教室 カープの選手による野球教室を開催し、直接テレビで見る選手に、野球の基礎等を教えてもらえれば、大きな夢が膨らむとともに成長する励みにもなると考える。 ③　『親子夏であそぼう』 昨年より、夏休みの第一日曜日は、『夏であそぼう』と題して、地域や他地区から親子を呼び【昨年約４０名、今年７０名】親子で、水鉄砲による水遊び、キャンドルサービス、親子食事会を行っている。この行事は、親子の触れ合いを重視し、夏休み最初の日曜日に設定し開始している。今回、参加人数も増え、参加した親子より『楽しかった』『親子の触れ合いが出来た』等の、回答があり他地域の親子とのふれあい行事を今後拡大していきたい。
☑社会的背景や地域の現状を踏まえて、プロジェクトの必要性や目的など記載してください。	

③実施場所及び効果の及ぶエリア	実　施	世羅町大字黒川 527-14　番地
	効果の及ぶエリア	実施場所：世羅町黒川 効果の及ぶ地域：県内（大和町、東広島、松永、安芸高田、三次、他）
☑具体的な施設整備やイベントを行う場所の分かる地図・写真を添付してください。 ☑必ずしも町内で実施する必要はありませんが、効果が町内に及ぶことが必要です。		

④実施予定期間及びスケジュール	令和８年　４月　１５日　～　令和９年　１月　３１日	
	４月～６月	第７回　春の黒川 GG 大会
	７月２０日	夏であそぼう
	10 月～12 月	第８回　秋の黒川 GG 大会　・カープ野球教室
	１月～２月	実績報告
☑プロジェクトの実施年度は申請年度の翌年度になります。 ☑概ね四半期毎のスケジュールを記載してください。 ☑2 月末までの事業完了・実績報告が必須となります。		

⑤実施内容	◇グラウンド・ゴルフ大会 ①グラウンド・ゴルフ大会（春・秋の２回） 参加費 1,000 円/人、年齢、性別関係なく参加可能。 ② 場所 せらにし青少年旅行村グラウンド ③ 賞品 ・米（世羅のコメのおいしさ再発見をしてもらう） 世羅のコシヒカリは、地域的にも東北と同じような環境の地域で栽培されており、食べた人は必ず美味さを実感してもらえる。 （特に世羅町以外から来た人） ・梨・りんご・ブドウ・その他 町内の特産物を賞品として提供し、町内産の特産物がどれくらいおいしいかわかってもらえるようにする。 ④ 大会補助者 黒川地区外のグラウンド・ゴルフクラブの会員の方や自治組織の体育部等に応援をいただく。（関係人口の増） ⑤ 大会参加要請 今まで交流を続けてきた、世羅町以外のグラウンド・ゴルフチームへ打診、宣伝を行い、交流人口の増を図る。 ◇カープ選手による野球教室 ① プロ野球のシーズンオフに開催予定(12 月頃) ② カープ選手による野球教室 ③ 場所：せらにし青少年旅行村 ④ スポ少、中学野球チーム監督・保護者と関係交流を図る。 ⑤ スポ少、中学野球チームに参加要請 ◇『夏であそぼう』 ① 親子で竹製水鉄砲での水遊び ② スイカ割 ③ 参加者が２グループに分かれて、ゲーム ④ 親が作った、カレー（3 種類）、フランクフルト、から揚げ、サラダの食べ放題 ⑤ 花火大会（手持ち、打上） ⑥ キャンドルサービス　等

☑具体的な建物、モニュメント等の施設整備内容やイベント等の開催内容などを記載してください。
☑プロジェクトの進め方や実施方法（活動地域・対象者）など、確実な実施ができるかも記載してください。
☑プロジェクトへの地域の住民・企業等の参画の度合いなど、地域を巻き込む取組みを記載してください。
☑プロジェクトのアピールポイント（活動の独創性・工夫している点・熱意）なども記載してください。

⑥プロジェクト実施翌年度以降の取組み	①　グラウンド・ゴルフ大会運営方法の協議 自治会総会後、せらにし青少年旅行村の指定管理者（株）C-PLANTS に、中・長期の事業計画を提出し、この大会の運営方法等を協議し、連携を深め大会を発展させていく。 ②　スポ少・中学野球選手　監督・保護者との連係 実際に子供たちの練習をサポートしている、監督・保護者の方から、指導上の疑問点や、課題を整理していただき、指導方法等を、カープ選手に伝授頂き、子どもたちや指導者のレベルを向上させる。 ③　夏休み等を利用して、親子の交流を図ることが最大の狙い 東広島、大和、松永等からの参加が増えることを期待し、他地区との交流を深める
☑整備した施設等の活用方法や、イベントや取組みなどの翌年度以降の継続性などを記載してください。 ☑自立的な活動の継続が期待できる取組みかどうかがポイントとなります。	

⑦　実施効果	①　グラウンドゴルフ大会開催 ・せらにし青少年旅行村の場所や黒川地域の行事に伴い地域の認知、世羅町の認知、特産物の味覚認知、世羅町の観光施設を認知してもらえる。 ・町内の各施設の紹介ができ、再度訪問していただけることが望める。 ・商品として提供した観光施設の入場券や特産物を評価していただくことで、認知が高まり購入機会・観光の増を狙える。 ②　広島カープ選手による、野球教室 ・技術向上：プロ野球選手から直接指導を受けることで、子供たちは技術的な面で大きく成長することができる。 ・モチベーションの向上：自分が尊敬するプロ野球選手から直接指導を受けることは、子どもたちのモチベーションを大いに高め、野球への情熱を育て、継続的な練習の意欲を引き出す効果が期待できる。また、保護者も同様である。 ・人間形成として、スポーツ少年団の目的は、子どもたちが協調性や思いやりの心を学ぶことであるため、プロ野球選手の姿勢や言葉から、スポーツマンシップやチームワークの大切さを学ぶことができる。 ・夢への挑戦：プロ野球選手との交流は、子どもたちにとって大きな刺激となり、プロ野球選手になるという夢から実現への挑戦の一歩となる。 ・また、地域に対する効果として、つぎの効果が期待できる。 ・地域の絆の強化：スポーツ少年団は地域の人々によって支えられ、その活動を通じて地域の絆がより深まる。 ・域活性化：スポーツ少年団の活動は地域の活性化につながる。 地域の行事への参加や奉仕活動など、地域とも積極的に関わることで、地域社会の活性化に貢献する。 ・地域内のスポーツ人材の育成：スポーツ少年団からは多くのプロスポーツ選手が輩出されており、地域のスポーツレベルの向上や、地域のスポーツ文化の発展に寄与する。 以上のように、スポーツ少年団の活動は地域社会にとって非常に価値あるものであり、地域の人々の生活を豊かにし、地域社会をより良いものにするために重要な役割を果たすと考える。 ③　『夏であそぼう』地域外からの親子の参加でつぎの効果が期待できる。 ・ 親子の絆の強化 水鉄砲遊びやスイカ割り、キャンドルサービスなど、親子が一緒に楽しめる活動を通じて、日常では得られにくい「ふれあいの時間」を創出できる。 過去の参加者から「親子の触れ合いができた」「楽しかった」といったポジティブな声が多数寄せられたことから、親子関係の充実に寄与できる。 ・ 地域交流の促進 他地区からの参加者も増加し、地域を越えた親子同士の交流が実現できる。 今年は参加者が約 70 名に増加し、地域イベントとしての認知度と魅力が高まっている。 ・ 食育・協働体験の提供 親が作ったカレーやフランクフルトなどの食事を通じて、子どもたちに「食の楽しみ」や「感謝の気持ち」を育む機会にすることできる。 ・食事の準備や提供を通じて、保護者同士の協力や交流も促進できる。

☑地域の課題解決につながる効果を具体的に記載してください。
☑町内の他の地域への波及効果も記載してください。
☑町の魅力を町外に広く発信するなど町外への効果もあれば記載してください。
☑団体等の利益が発生する場合には、地域の利益が上回ることを具体的に記載してください。

３．収支予算

【①支出】グラウンド・ゴルフ大会

区　分	内　　訳		金　　額
	グラウンド・ゴルフ大会運営準備費用		212,000
食糧費	大会場所準備弁当代　　40 人*2 日*2 回*1,000 円		160,000
	大会要綱・通信費		52,000
印刷製本費	200 円*130 人*2 回		
	大会事務費		
委託料	大会会場　準備費用（施設使用料含む）		100,000
	（株）C-PLANTS		100,000
	印刷・通信・事務費		100,000
印刷費	大会案内 印刷費　　100 円＊250 部*2 回		50,000
通信費	大会結果 通信費　30/チーム＊2 回*168 円＊2 回		25,000
事務用品	事務用品費（封筒、用紙、バインダー）		25,000
報償費	賞品代（1 大会分）		400,000
	1 位 20,000 円*2＝	40,000	
	2 位 10,000 円*2＝	20,000	
	3 位 5000 円*2＝	10,000	
	4 位 3,000 円*2＝	6,000	
	5 位 2,000 円*2＝	4,000	
	6 位～15 位 1,500 円*2*10＝	30,000	
	飛び賞 500 円*100＝	50,000	
	HIO 賞　　400 円＊100＝	40,000	（200000 円＊2 回）
		200,000	
小　　計	グラウンド・ゴルフ大会		(a) 812,000

【②支出】野球教室

区　分	内　　訳	金　　額
	野球教室	550,000
食糧費	大会準備費　グラウンド整備弁当・お茶	
	50 人＊1000 円＊2 日	100,000
報償費	カープ選手講習・講演	
	招待費（講習・講演費）	450,000
小　　計		（b）　550,000

【③支出】夏であそぼう

区　分	内　　訳	金　　額
行事宣伝費	実施日・実施場所・行事内容等	~~300,000~~ 50,000
食糧費	100 人＊1000 円	100,000
謝礼	10 人＊5000 円	50,000
イベント	花火、水鉄砲、水槽、スイカ他 水道代	100,000
		(C) 300,000
合　　計		(a) + (b)+ (c) 1,662,000

【②収入】

(補助対象経費算出)

区　分	内　　訳	金　　額
① GG 参加費等	1,000 円＊240 人*2 回	(b) 400,000
③　参加費	1,000 円＊100＝100,000	100,000
補助対象経費	(a) +(a) '－(b)	(c)　1,162,000

(目標金額)　＊目標金額は補助金申請額で、補助金の上限となる額です。

区　分	内　　訳	金　　額
目標金額（補助金申請額）		1,162,000
自己資金（会費など）		
その他（寄付、利息など）		
合　　計		(d)　1,162,000

(成立金額)　＊成立金額はプロジェクトの実施に最低限必要な金額で、下回った場合には補助金は交付しません。

区　分	内　　訳	金　　額
成立金額		962,000
自己資金（会費など）		200,000
その他（寄付、利息など）		
合　　計		(d') 1,162,000

☑参加費を徴収するイベントなどは参加費相当額を補助対象経費から除きます。ただし、参加費相当額を確認するため、支出には参加費相当額も含めた金額を記載してください。

☑「区分」の欄には、講師等謝金、旅費、印刷製本費、委託料、備品購入費などを記載してください。

☑「内訳」の欄には、収入及び支出毎の概要（積算根拠など）を記載してください。

☑金額の根拠となる書類（カタログ、見積書等）を添付してください。

☑建物の整備などの場合は、図面を添付してください。

☑目標金額、成立金額は 20 万円以上 1000 万円以下の範囲で、千円単位で記入してください。

☑ (c)と (d)・(d')は、必ず一致させてください。

☑本様式を元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱第 6 条に基づく補助金交付申請の際に使用する場合は、(成立金額)の表への記入は不要です。

４．確認事項（次の事項を確認し、☑してください）

☑①　元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱ならびに元気な地域づくり応援事業補助金申請要項の内容を順守したうえで、本申請を行います。

☑②「元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書」並びに添付書類の記載内容は真実であり、虚偽の内容はありません。

☑③　個人情報について次の事項に同意します。
・申請書、変更申請書、実績報告書および添付した資料に記載されている事項は、当事業の運営に必要な範囲で、審査会委員や世羅町が取得・利用すること、また、ふるさと納税の募集や結果を公表するため、これらの情報が世羅町ホームページ等に公開され、マスコミ等一般に公開されること。
・公開審査会の際に、提出された書類を基に作成した申請内容要約書を一般に配布すること。

☑④　申請内容について、詳細な情報・資料を求められた場合は提供します。

☑⑤　各種法令等を遵守し、申請内容を必ず実施します。申請したプロジェクトが成立したにも関わらず、事業を実施しなかった場合は、成立通知書を受け取った日の属する町の会計年度及び翌会計年度にこの補助金の申請をすることができないことを了承のうえ、申請します。

☑⑤　本事業により整備した施設等の財産は適正に管理します。また、整備後５年間は、補助目的・申請内容に沿って使用します。

上記の点、確認しました。

団体住所　　世羅町大字黒川　10282-1 番地
団　体　名　　黒　川　自　治　会
代表者氏名　　会長　池　上　哲　夫　　㊞

・個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）に基づき、申請者の個人情報は本事業を遂行するために必要な範囲に限定して利用します。

【自由記述】プロジェクトに対する意気込みなど、自由にご記入ください。

① せらにし地区で町外の人を呼び込める行事等が少なく、今後、いろいろな行事を拡大検討していくプロジェクトとしたい。
② 少ない人数の子供たちが、野球を通じて頑張っている。その子供たちの夢の一部を応援してやりたい。

◎最後にチェックしてください。申請書類・添付書類に漏れはありませんか？

☑	内容（【必須】となっているものは必ず提出が必要）	公開・非公開
☑	【必須】元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書（様式第 1 号）	公開
☑	【必須】事業計画及び収支予算書（様式第 2 号）	加工公開
☑	【必須】団体の規約又は定款	公開
☑	【必須】事業位置図・事業実施場所写真	加工公開
☑	【必須】団体の構成員名簿	非公開
☑	【必須】団体の決算書・総会資料	非公開
☑	【必須】見積書（又は設計書）	非公開
□	図面（施設整備が伴う場合は必須）	公開

＊公開とされているものはホームページで公開します。加工公開とされているものは、一部加工したうえで公開します。

＊著作権等のため、公開としているものも加工することがあります。

＊申請者が希望された場合、非公開としているものも加工のうえ公開する場合があります。

＊書類は可能な限り電子データでも提出してください。

＊書類は公開審査会でコピーを配布する場合があります。